

2. 特別会計について

| 会計区分 | 歳入額 | 歳出額 | 差引額 |
|------------|-----------|-----------|---------|
| 国民健康保険 | 5億1,807万円 | 5億371万円 | 1,436万円 |
| 後期高齢者医療 | 8,988万円 | 8,946万円 | 42万円 |
| 浦郷診療所 | 7,602万円 | 7,600万円 | 2万円 |
| へき地三度出張診療所 | 1,233万円 | 1,217万円 | 16万円 |
| 簡易水道事業 | 1億5,823万円 | 1億5,804万円 | 19万円 |
| 下水道事業 | 2億2,688万円 | 2億2,605万円 | 83万円 |

決算の状況

特別会計は、特定の事業を行うための会計であり、主に保険税や各事業を利用する方に納めていただく使用料などで賄われています。今年度も全ての特別会計において黒字となりましたが、一般会計からの繰入金も多くなっています。

3. 各指標から見る町の財政状況

財政健全化法の指標

| 指 標 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 |
|--|-----------|-----------|-----------|
| 実質赤字比率 一般会計等の赤字から財政運営の深刻度をみる比率 | 黒字のため生じない | 黒字のため生じない | 黒字のため生じない |
| 連結実質赤字比率 全会計の合計が赤字の場合算出される、財政運営の深刻度をみる比率 | 黒字のため生じない | 黒字のため生じない | 黒字のため生じない |
| 実質公債費比率 借金の返済額などの大きさから、資金繰りの危険度をみる比率 | 14.6% | 12.5% | 11.9% |
| 将来負担比率 一般会計等の借金残高から、将来的な財政への圧迫度をみる比率 | 94.4% | 85.5% | 79.7% |
| 資金不足比率 公営企業会計の資金不足割合から、経営状況の深刻度をみる比率 | 黒字のため生じない | 黒字のため生じない | 黒字のため生じない |

【実質公債費比率】

この比率が18%を超えると町債の発行に県知事の許可が必要になり、25%を超えると一部の町債発行が制限されます。西ノ島町の実質公債費比率は11.9%で、前年度比0.6%改善しました。

【将来負担比率】

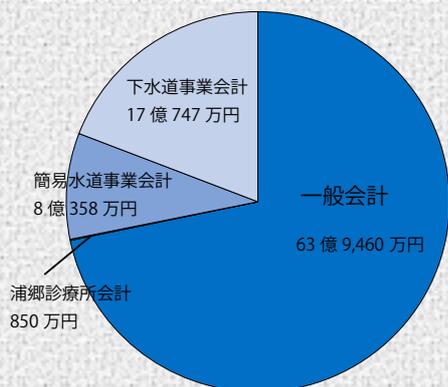
この比率が高くなるということは将来の借金返済等が増加することを示しており、今後の財政運営が圧迫される可能性があります。西ノ島町の将来負担比率は79.7%で、前年度比5.8%改善しました。

【健全化判断比率】

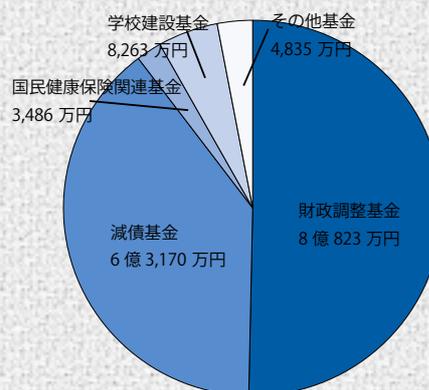
上記のとおり、平成25年度決算においてはいずれの指標も「早期健全化基準」といわれる条件をクリアしており、現在のところ財政状況は好転していると言えます。

4. 町の借金と貯金について

借金残高：89億1,415万円



貯金残高：16億577万円



町 債（借金）は道路や港湾、上下水道といった長い年月使用する施設の整備に使われています。これらの施設は建設に多額の費用が掛かるため、建設したときの町民だけが負担するのではなく、建設後に利用する多くの町民にも公平に負担してもらう「分割払い」になっています。

町では、地方交付税で補填される種類の町債を選んで借りよう心掛けており、現在の残高のおよそ7割は今後の地方交付税として収入する見込みです。

町民一人あたりの借金残高は、およそ289万円という計算になります（平成26年4月1日現在人口の3,083人で算出）。

基 金（貯金）は経済の急激な変化で大幅な税収減に見舞われる、災害が発生するなどといった予想外の支出、多額の経費が掛かる公共施設の整備や国民健康保険の保険給付費の不足に備えるためなどに積み立てているお金です。

平成25年度はほとんど基金を取り崩すことなく、前年度繰越金や経費節減効果などにより1億8,529万円を積み増すことができました。

町民一人あたりで換算すると、およそ52万円の貯金残高という計算になります。

5. 平成26年度の主要事業

■学校建設事業



※完成予定図

事業期間：H22～H27

総事業費：31億7,300万円

今年度事業費：1億7,637万円

【概要】西ノ島小中学校の新校舎建設

■一般廃棄物処理施設整備事業



※現在のごみ焼却場

事業期間：H23～H30

総事業費：23億400万円

今年度事業費：6億4,000万円

【概要】ごみ焼却場及び最終処分場の施設更新

今後の見通し

西ノ島町の財政状況は、これまで行ってきた行財政改革や機構改革などの成果により人件費が抑えられていることや地方交付税が比較的堅調に推移していることなどから、健全な財政運営が続いています。しかし、平成24年度に完成した「にしのしま光ネット」や西ノ島小中学校建設、ごみ処理施設整備などの大型公共事業の財源である借金の返済が今後増加していくため、決して楽観視はできません。

今後も引き続き健全な財政運営を心掛けると同時に、「夢と笑顔のあるれるまちづくり」を推進するために必要な事業は積極的に実施します。